

## 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ（第4報）

11月7日午後まで判明した事実関係及び今後の対応についてご報告いたします。第1報から3報までの内容と重複する部分がありますが、改めてご報告いたします

### ① 当該職員の直近10日間の行動及び勤務状況について

10月29日～30日夜勤勤務

10月31日～11月2日（3日間の有給・公休）（近所への買い物以外は自宅で過ごしていた。）

11月3日～11月4日夜勤勤務

11月5日 午後よりもやもや感あり、検温にて36.8℃～37.0℃。その後夕方にかけて38℃台まで上昇。22時頃38.7℃。頭痛・咳嗽あり。この時点で病棟科長へ報告。翌日朝一番に検査対応医療機関への受診を指示する。

11月6日 Aクリニックへ受診するが、診察拒否。Bクリニックに受診し抗原検査陽性判定を受けるも擬陽性の可能性を指摘され熊本市PCRセンターにてPCR検査をおこなう。

11月7日 午前PCR検査陽性の判定。熊本市より入院指示を受けるが7日午後の段階で入院先は決定していない。

## ② 行政機関との連携について

当該職員が在住する熊本市との協議において、当該職員の勤務状況などを鑑み濃厚接触にあたる患者様及び職員は存在しないが、接触者として当該職員が勤務する病棟に入院している患者様全員と同じ時刻に勤務していた職員 5 名の PCR 検査をおこなうよう指示がありました。又、今後は当院の管轄である宇城保健所の指示を受けることも確認されました。

## ③ 当院の対応

11月6日 同じ時刻に勤務した職員 5 名と接触のあった職員 1 名の抗原検査を実施。全員の陰性が確認される。同時に 4 日退院された患者様 2 名と他科受診予定の患者様 2 名の抗原検査も実施。4 名とも陰性。

11月6日～ 病棟入り口に自動手指消毒を 3 か所設置、当該病棟職員の更衣室を病棟内の在宅療養訓練室に変更（他部署職員との接触を避けるため）。出勤出入り口を外から直接入るよう変更。

ゾーニングの実施

●グリーンゾーン（清潔区域）ナースステーション。ここで個人防護服の着用をおこなう。

●イエローゾーン：個人防護服を脱衣する場所

※職員はホールよりイエローゾーンに入室し、個人防護服を脱衣した後はグリーンゾーンで手洗い実施

●グレーゾーン（みなし汚染区域）ホール・病室・トイレ・浴室など全域

●環境整備の徹底（午前・午後）ドアノブ・ベッド柵・床頭台・テーブル表面・電気スイッチ・トイレの消毒。

#### ④ PCR 検査について

11月7日午後より適宜当該病棟入院患者様及び接触した職員のPCR検査を実施しております。結果が判明するのが早くて明日の午後、遅ければ明後日になるとの予測です。結果につきましては判明し次第ホームページにてご報告いたします。

医療法人社団明心会 あおば病院

理事長 三浦 大介